



供用開始した道路と建設中の岩国医療センター

愛宕山まちづくり区域で整備を進めていた一般県道南岩国尾津線と市道4路線が、3月30日から供用を開始しました。

これにより、国道188号の高水学園付近から岩国商業高等学校方面（市道牛野谷町29号線）へ通行できるようになったほか、愛宕山まちづくり区域に隣接する百合ヶ丘団地や七曲団地からも国道188号や岩国商業高等学校方面へ通行することができるようになりました。

幹線道路など供用開始

また、愛宕山まちづくり区域の牛野谷町三丁目、門前町二丁目、尾津町一丁目、尾津町二丁目および南岩国町二丁目の一部の町の区域と町の名称が、愛宕町一丁目に変更になりました。

現在、国立病院機構岩国医療センターの移転・新築工事が平成25年3月24日の開院に向けて進められています。

圃拠点整備推進課 ☎295164
道路課 ☎295130

愛宕山のまちづくり進む

市政 PICK-UP



▲国道188号と県道の交差点にある標識

岩国錦帯橋空港

羽田空港でPRイベント

2012年度中に開港が予定されている岩国錦帯橋空港のPRイベント「空から行こう！岩国へin羽田」が、3月26日と27日の2日間、羽田空港で開催されました。特設ブースを設けて、ポスターなどを掲示し、首都圏での周知を図りました。

福田良彦市長や、柳井市の井原健太郎市長、おいでませ山口観光宣伝部長の「ちよるる」らが出席し、一斉に紙飛行機を飛



▲にぎわいを見せた抽選会

空から行こう！岩国へ

ばしてイベントを開始しました。岩国錦帯橋空港や市の紹介をしたトークショーの中で福田市長は、錦帯橋やシロヘビ、岩国寿司、地酒などを紹介し「魅力あふれる岩国に、ぜひお越しください」と呼び掛けました。

特産品が当たる「じゃんけん大会」では、羽田空港を利用していた幅広い世代の人が参加し、にぎわいを見せました。

図 空港開港準備室 ☎ 5010



▲岩国錦帯橋空港 イメージ図

災害用井戸完成式



▲設置された災害用井戸



▲レバーを上下すると水がくみ上げられる

平田供用会館と川下供用会館の前に整備していた災害用井戸が完成し、3月29日に完成式が行われました。

この井戸は、万が一規模な災害が起きて水道の給水が停止してしまった場合に、飲料水以外の生活用水（洗い物やトイレなどで使用する水）を確保するため、避難所となっている両供用会館前に設置されました。停電のときにも使用できる手押し式ポンプで、レバーを上下する

断水時の生活用水に

ことで一分間に最大30リットルの水が出ます。

式に出席した地元の人たちは「避難した際に生活用水が確保できれば気持ちにゆとりができる」「液状化の恐れがあり、断水が心配だったが生活用水が確保できた」と、井戸の完成を喜びました。

また、出席者が交代でポンプを押すと、水が勢いよく出てきて、拍手が送られました。

図 危機管理課 ☎ 5119